

富士宮市 取組みの参考資料



行政職員が認知症の方の課題を認識し 地域包括支援センタースタッフがスキルを身につけることは？

若年性認知症の方から学んだこと

佐野光孝さん 58歳

ある日突然、佐野光孝さんと奥さんが地域包括支援センターの窓口に来られました。

- ・あと少しで60歳。できる限り働きたい！
- ・なんとか働けるなら…ボランティアでもいい。
- ・営業マンだったので、人と会話するのが得意。
- ・人と接することが好き。
- ・観光が好き。
- ・富士宮焼きそばを…色々な店で食べたことがある。

妻



夫

(認知症本人)



夫の思い

一家の主として、1人の男として…

働いて収入を得、自分が家族を支えたいというプライドある

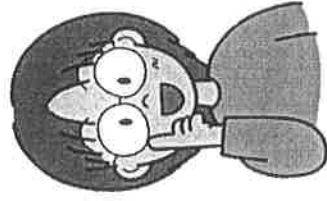
家庭を支えることができない虚しさ

収入を得られない悔しさ

閉じこもった生活からの脱出（人との関わりを持つ）
⇒制度上だけでは支援できない（使える制度なんてなかった！）

まずは…

「好きなこと」で、「できそうなこと」を探してみよう!!



何よりも夫が楽しみ・生きがい・社会との
関わりが持てるような場所があればなあ…

営業マンだった経験・性格・
2人の生活リズム・特技・趣味

を考えると…

観光…

ボランティア…

焼きそば…

そうだ!!

焼きそば
ボランティア!!

トップランナーの役員を務めていた

「くらしの相談課長（市職員）」の所に、
夫妻を連れて相談へ…

病気を抱えていますか…
ボランティアに参加できますか？

富士宮市にとっては重要な
地域資源だと分かる。

実際に見学して様子を見てから決めることに…

まちづくりトッパー富士宮本舗(NPO法人)が運営する
「焼きそばの観光案内所(まちづくりサロン宮っ)」

帰りに観光案内所を見に行ってもらうことに…。

シルバー人材センターを紹介

しかし…

「うちでは、受け入れられません。
病気が治ってから来てください。」
と言われてしまいました。



センタースタッフの啓発が課題

そこで、認知症について…
できること・できないこと
認知症はどんな病気か？
を説明しに行きました。

しかし、労務管理等の理由から受け入れ
てはもらえませんでした。

佐野夫妻が思いを語る。

佐野夫妻の思いに触れる⇒地域の活動者の原動力

キャラバンメイトに…



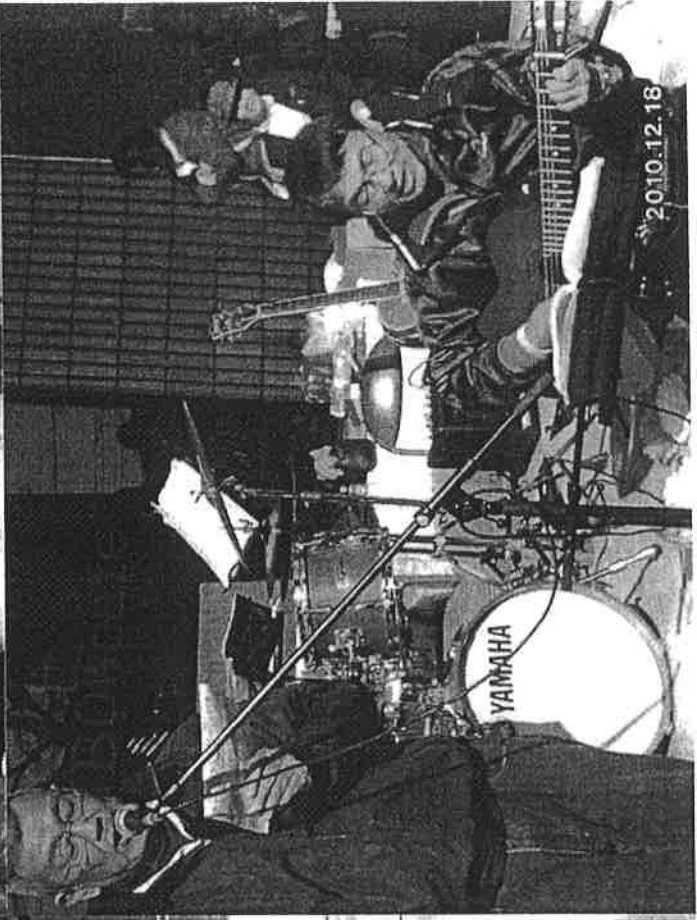
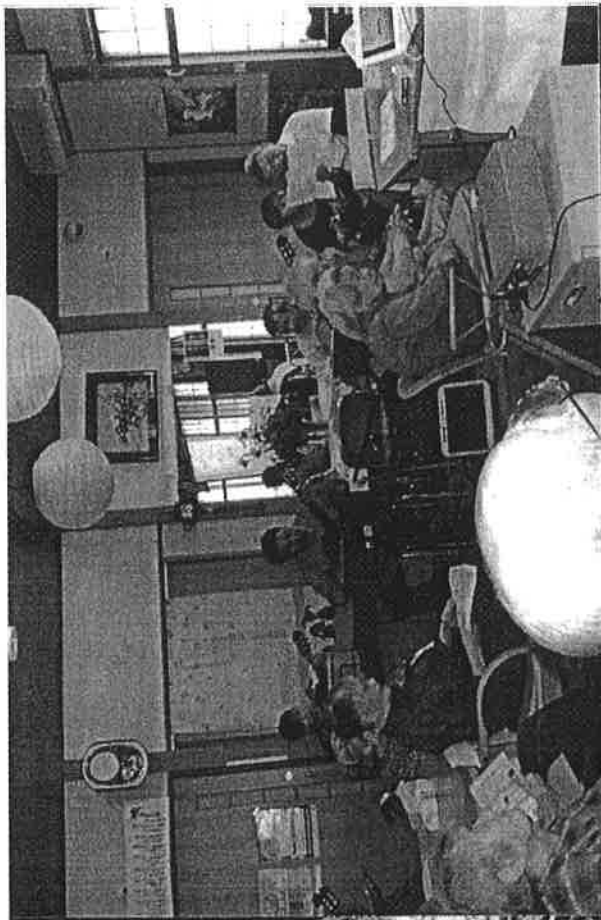
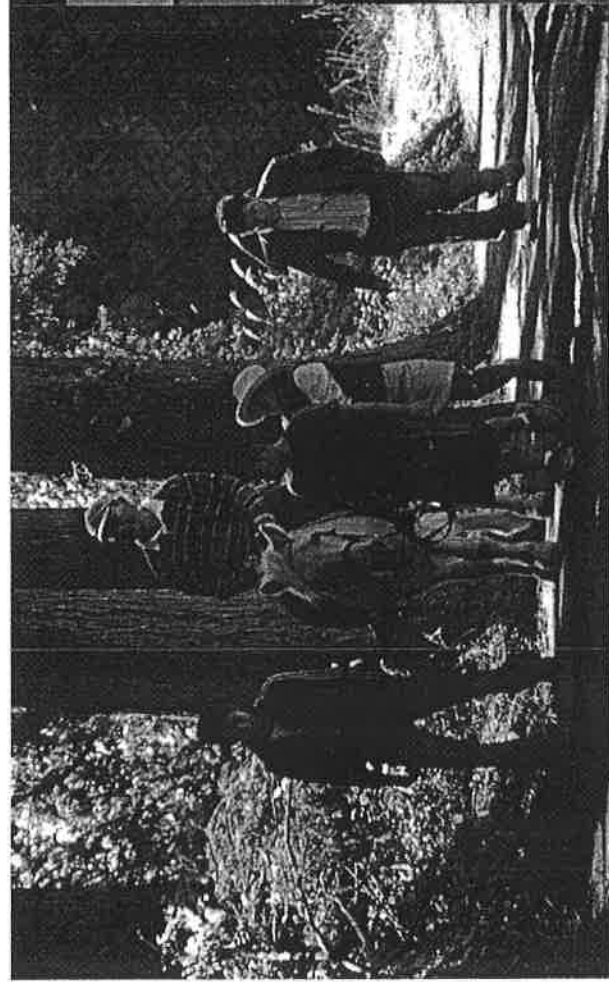
母親たちに…



介護保険事業者に…



佐野夫妻への支援の輪が広がる



佐野さんの支援を通して重要な地域資源を発見し、関係性を構築できる。

佐野さんが紹介されて、シルバー人材センターにいった

しかし……

「うちでは、受け入れられません。病気が治ってから来てください。」
と言われてしまいました。

地域包括のスタッフが
地域課題を発見！

そこで、認知症について……

できること・できないこと認知症はどんな病気か？ を説明しに行きました。
しかし、労務管理等の理由から受け入れてはもらえませんでした。

「シルバー人材センターは本当にこのままでよいのか？」



その後のシルバー人材センターの発展

- 1 研修会（認知症サポーター養成講座）の開催
H22.2.24 15人、H22.3.2 16人、H23.5.9 26人
- 2 福祉・家事援助サービスの開始
（緊急雇用で臨時職員のヘルパーを1年雇用し、
シルバー人材センターに1年派遣 H22.4.1）
- 3 定期的に学習会を計画し開催（地域包括支援センターのバックアップ）
- 4 子育て支援サービスの開始 H24.4.1
- 5 佐野夫妻の受入れ
- 6 地域見守り安心事業（高齢者の見守り支援）協力

家族会との連携

- ・ 家族会（さくら会）の会員（20人）とのワークショップを通じて、家族介護者支援策について報告書をまとめる。

- ・ 定例的に報告会を実施

・ メンバー

さくら会員

市介護障害支援課職員

地域包括支援センター職員

社会福祉協議会職員



せくから会からの聞き取りによる家族介護の負担感

个整日忙于役制・灾恤

[illegible]

力能

[illegible]

介 紹 環 境

[illegible]

さくら金からの聞き取りによる家族介護の負担感

能力

境界環境

右半分は外部環境（介護保険事業所・病院・行政・近隣住民など）の問題であった。

改めて全体を見てみると、医療と福祉の連携だけでは片付かない問題が多いことがわかる。

(医療・福祉連携は課題の一部)

日常生活支援を大切に……！！

外に出歩き、行方不明の危険が高まった事例

▶ 1日4回、往復1時間かけて、どこかに行ってしまう。

☆ 本人は、神社の掃除に行こうとしていた。

▶ 掃除に行った事を忘れてしまい、また行ってしまう。

▶ 自分自身の体調管理ができない。

▶ 帽子を被るのを嫌う。

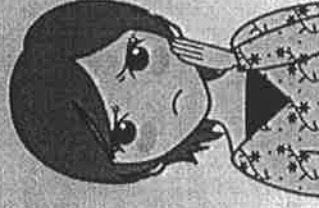
▶ 水分補給をしない。

▶ 自分の事を、言葉で表現ができない。

▶ 相手に対して、急に怒り出してしまう。

▶ 広い道路をよく見ずに渡ってしまう。

▶ 1日1回1時間のヘルパー派遣では、見守り支援が十分でない。



本人なりに
必ず理由が
ある！

- * 家族からケアマネジャーさんに相談⇒地域包括に相談
- * 悩んでいても解決が出てこない。
- * 本人の歩く道を一緒に歩いてみよう！

☆本人の姿を普段から目にして、気にかけている人たちがいた！

通り道のお店の人、タイヤ工場の人、民家の人、神社の人・・・

事情を説明

普段の声かけを依頼

連絡先の紙を渡す

地図上に⇒支援マップ

見えにくい支え手や
つながりをマップにして
共有。いざという時に備える。

☆本人が行きたいところに
行き続けられるように。

「安心して散歩がしたい」
皆様の暖かい目と手をお貸しください



【お願い】
金ノ宮神社へ散歩や通学に行くのが日課になっている認知症の方がいます。
散歩の途中で、体調が悪くなったり、怪我をした時、家が見つからなくなったり、
一歩、ご自分で助けを尋ねたり、判断する事が出来ません。この方が、一日で
も長く安心して散歩へ出かけるように、地域の皆様の温かい目と見守りに、
ご協力ください。

氏名 B さん
住所

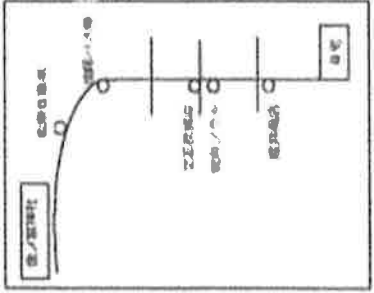
＜特徴＞
・白髪で白髪
・エプロンが特徴を帯びている事が多い
・金ノ宮神社へ行くのが日課・神社内では神神をしたり、
景色を眺めている
・声を掛けたり、本人の通学に支障をきたす事があると、表情が
険しくなり怒る事がある
・暖かい目や、本人が喜ぶ事がわかりにくい事があり
食事は取り立てない事がある



＜緊急連絡先＞
※体調が悪そうなお時、道に迷っている時などご連絡下さい
自宅と反対方向に歩いている時などご連絡下さい

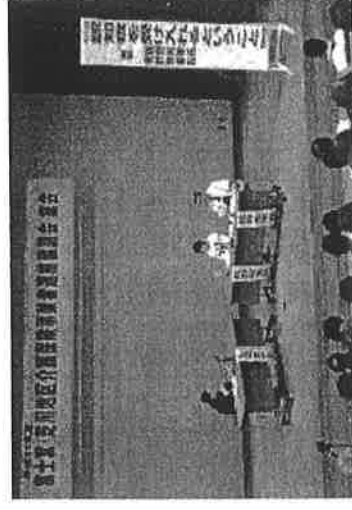
1) 携帯 ()
2) グリーンティールー介助支援事業所
担当ケアマネージャー 梁澤久美子
0544-25-3747
080-5290-5259
3) 富士宮市地域福祉支援センター
0544-22-1591
4) 夢コープ（ヘルプデスク）
0544-25-6050
5) 地域型支援センター 社会福祉協議会
0544-22-0094





I 講演会の実施（H19・H20）

若年性アルツハイマーの夫妻による講演会「認知症を受け入れるということ」
医師による認知症講演会（訪問部会）



II 全介護職にアンケートを実施（H21）

ケアの向上を果たすために、「介護職のあるべき姿、現状、改善点等」について、記述式アンケートを実施した。

III 全5部会(通所部会、訪問部会、グループホーム部会、施設部会、居宅介護支援部会)によるワークショップの実施（H21）

- 介護職へのアンケート（記述式）結果を基に、KJ法を使って、部会ごとに、介護現場における問題・課題について整理していった。（3回×5部会）
- 整理した問題・課題を基に、各部会ごと、研修基本方針を作成していった。

専門医・認知症かかりつけ医・かかりつけ医による
「認知症者支援医療機関ネットワーク研究会」の開催

(1) 認知症相談窓口医療機関一覧表の作成

(2) 認知症相談医が初期の問診を迅速に安心して
実施するための連携書式を作成

(3) 相談医の研修会の実施

(4) もの忘れ検討会の立上げ

地域で活動する市民と、認知症についての具体的な課題を共有し、地域でのアクションを生み出す。

教師の思いを実現する

（教師といっしょに講座を企画する）

ある小学校の先生は・・・

「子どもに思いやりの心を育てたい。」

ある中学校の先生は・・・

「もっと地域に開かれた学校にしたい。」

福祉担当の先生といっしょ にカリキュラム作成

講座内容	
時間配分	内容
AM	
(3分)	自己紹介 みんなの好きな人について
(10分)	DVD：大好きなおばあちゃん 新潟県社会福祉協議会
(10分)	1 DVDのおばあちゃんの行動から認知症を学ぶ 脳の病気・物の使い方がわからない ・人や自分のことが分からなくなる ・時間や場所がわからなくなる ・新しいことを覚えていられなくなる
(10分)	2 認知症高齢者への対応から認知症高齢者の気持ちを考える ・DVDや事例から認知症高齢者の悪い対応について知る ・悪い対応良い対応から認知症高齢者の気持ちを考える
(10分)	3 自分たちが認知症高齢者にできることを考える ・高齢者にとって認知症が身近な病気であることを知ると共に 認知症があっても人間の価値は変わらないことに気づく
(2分)	4 学習のまとめ お互いが助け合うことで認知症の方も笑顔で暮らせる



子供たちの反応・感想

認知症になっ てしまったら、 どんな気持ち になるのだろ う？	一生懸命考えてみました。 ・悲しい ・寂しい ・パニックになる ・不安な気持ち
嫌な対応をさ れたら…どん な気持ちにな るのだろう？	自分に置き換えて考えました。 認知症の方の内面を深く掘り下げた発言も…。 ・自分が嫌になる ・出かけたくない・閉じこもる ・死にたくなっちゃう。
自分たちので きること	地域の一員として何ができるか考えた子供も…。 ・怒ったりしないで優しくしてあげたい。 ・遊びに行ったり一緒に遊んであげたい。 ・散歩についていてあげよう。 ・いろんなことを話してあげる。 ・優しく温かく見守ってあげたい。 ・病気が悪くならないようにしたい。 ・話を合わせるようにする。 ・協力したい。 ・周りの人に認知症についてわかってもらいたい。

家族・地域に必要とされるひとりの人間として認知症問題を考えた。
また、高齢者へのメッセージとして「わたしができること」

H21.12.14~16

富士根南小学校4年生認知症サポーター養成講座

にんちしょう
認知症

のう びょうき
脳の病気

しょうしょう
症状

- 鏡の中の自分をお客と間違う。
- こうちゃんとお父さんを間違う。
- トイレに行くと行って外へ。
- 亡くなったおじいちゃんの所に行く。
- ごはんまだ？と言う。

- 物の使い方がわからなくなる
- 人や自分のことがわからなくなる
- 時間・場所がわからなくなる
- 新しいことを覚えていられなくなる

怒るお父さん

周りの人の気持ち

- 出て行ってほしい。
- しかってほしい。
- おかしい人 笑いやに



認知症の人の気持ち

したくなくなる 不安
自分にいらつく 怖い
パニック

こもってしまう 悲しい
死にたい 外に出たくない
自分がキライになる
泣く ショック

自分たちのできること



- そばにいてあげる。
- できないことの手助け。
- 教えてあげる。
- やさしくしてあげる。
- 周りの人に理解してもらおう。
- 手伝う
- 周りの人に説明しておく。
- 一緒に好きなことをしてあげたい。
- 支えてあげる。
- 話を合わせて怒らない。
- 遊んであげたい

うれしい・しあわせ
温かい気持ち

みんなの大切な人

- おもしろい
- やさしい
- いっしょにあそんでくれる。
- やくそくを守ってくれる。
- おこづかいをくれる。
- 買ってくれる。
- 泊まらせてくれる。
- おいしいもの。
- 〇〇に連れて行ってってくれる。
- ギター・しょうぎが上手
- ものの知り

お年寄り

8人に1人

にんちしょう
認知症



おばあちゃん

生徒たちが自発的にボランティア活動



小学生

高校生

中学生

実際に認知症の方と
ふれあう機会をつくる

認知症サポーター養成講座受講者



グループホーム体験

グループホーム

ネットワーク

学校



認知症サポーター養成講座を受けた 小学生・中学生・高校生へ...

グループホームを訪問して認知症の方とふれあおう!!

自分やその家族が認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく笑顔で暮らせる社会を目指して...



グループホームでは...

認知症の方が少人数(5~8人程)で共同して生活しています。
食事の支度や掃除、洗濯などスタッフと一緒に、家庭的
で落ち着いた雰囲気の中で生活を送っています。このような
生活の中では、認知症の進行が穏やかになり、介護をして
いる家族の負担を軽減することができます。

富士根南小学校 4年生

「グループホームいっしょに暮らそう」での体験事例



体験内容は互いについて関わりあう。詳しくは、個別グループホームへお問い合わせください。

お話をしました。
おはあちゃんに作り方を
教えてもらいました。

学生の方の学びが継続できるよう、富士宮市内のグループホームでは学生の訪問を受け入れています。

認知症の方の生活の場を...訪問してみませんか?

グループホーム お問合せ先	
ゆずの家	22-8844 大井493-13
あった家	67-0011 大庭151-1
ほほえみ	28-4141 大重1164-1
百葉二の宮	25-7888 北町14-5
あかね	28-5300 小栗2302-7
愛の家	54-3366 佐野840
いっしょに暮らそう	25-3747 杉田1020-2
ひまわり	29-7680 野中1076-4
いこいの家	25-3283 万野原新田3163-1

3つの“ない”で認知症の方と仲良くなるう!!



3つの“ない”
※置かせない
※急がせない
※自尊心を傷つけない

おじいちゃんおばあちゃん

みんなで「やさしいまち」をつくらう!!

◆申込方法 希望するグループホームへ
各自お問い合わせください。

◆持ち物 認知症サポーター証(明書
(体験者からの同意の署名が必要です。))

◆日程(半日程度)

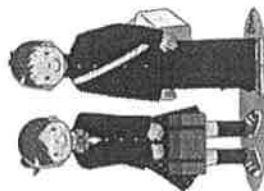
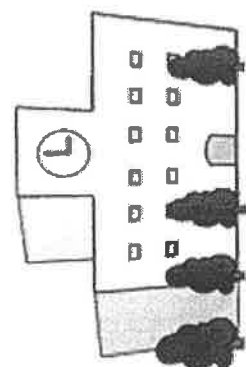
各グループホームに相談

◆申込期限 認知症サポーター証(明書があれば
いつでもお申込できます。



学校に広がる認知症サポーター講座

『認知症の正しい理解者・ともにいきる姿勢』



修了証

本人は、平成31年度高校生向け認知症サポーター養成講座「認知症サポーター養成講座～認知症について一緒に学んで地域で支えよう～」において、所定の履修を修了したことをここに証します。

平成31年5月18日

富士宮市長 小笠原 誠

富士宮市立小学校4年空組認知症サポーター養成講座



市内の高校生が一同に集まる
夏休み高校生サポーター養成講座！



高校生の認知症サポーター養成講座は、授業枠だけでなく夏休みを利用して高校生向けの企画をしています。キャラバンメイトと各学校の先生方で講座の企画会議を行っています。

グループホームでのボランティアへ

地域で活動する市民と、認知症についての具体的な課題を共有し、
地域でのアクションを生み出す。

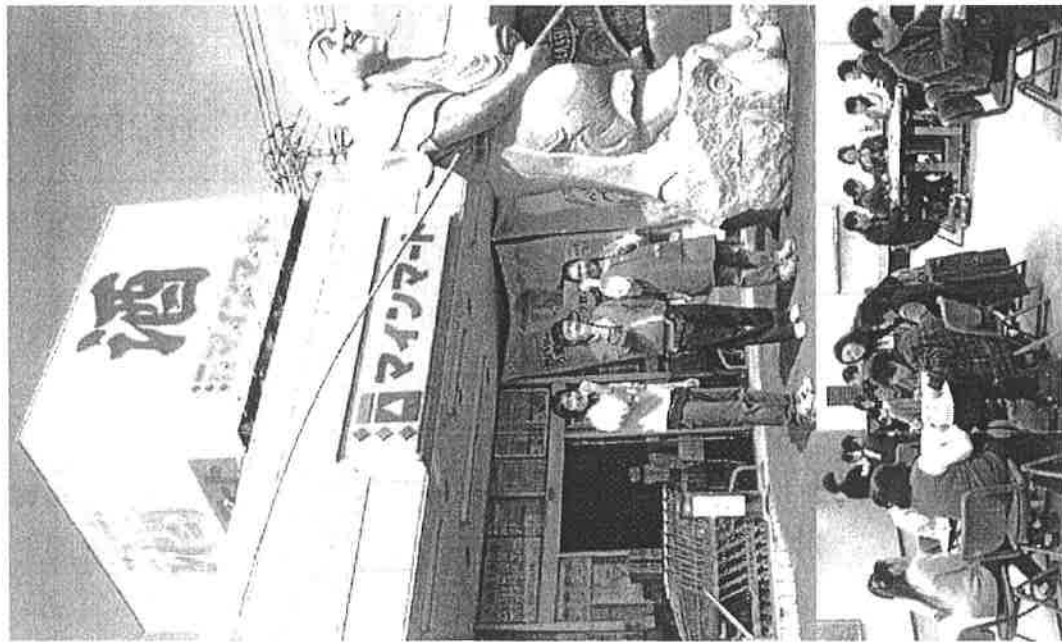
まちづくり関係者

- ◇ 高齢者が立ち寄って、くつろげる商店街にしたい。
(商店街のおかみさん)
- ◇ 「毎日同じものを購入していくお年寄りがいるけど、どう
したらよいのか・・・。」(ドラッグストア・セブナイ
レブン)

などの思いがそれぞれの講座を作り出す。

ドラッグストアなど

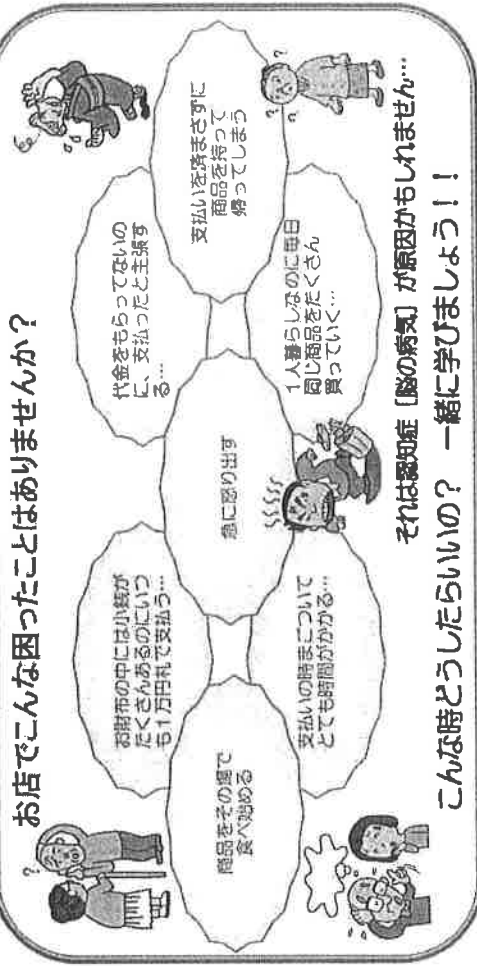
安心して買い物ができるまちに・・・
(小売店向け接遇講座)



お店で働くみなさま

認知症から接遇を学びませんか？！

お店でこんな困ったことはありませんか？



それは認知症「脳の病気」が原因かもしれません...
こんな時どうしたらいいの？一緒に学びましょう！！

認知症の理解と具体的な対応方法を学べる講座を開催します！！

接遇研修(認知症サポーター養成講座)

と き : 平成22年3月17日(水)

午後7時～午後8時30分

と ころ : 富士宮市役所 7階 特大会議室

参加を申し込まれる方は下記の申込書にご記入ください。

キリトリ

接遇研修申込書

店 舗 名 :

参 加 者 名 :

連 絡 先 : ☎

認知症サポーターがいるお店として
富士宮市のホームページで紹介します。

認知症講座受講

各店舗何名様でも
受講できます。



お店PR・紹介

後日、サポーターの写真やお店のPRを富士宮市のホームページで紹介します。

富士宮市
ホームページ掲載



認知症の方でも安心して買い物ができる
認知症サポーターがいるお店として
ご紹介していきます！！

(事例紹介1)

腰椎圧迫骨折（6週間安静） になったおばあさんの事例

- 病院を退院したが、配食サービスの手続きに1週間かかる。
- 近所（中央町）のセブンイレブんに相談。
店長のご好意により、夕食時に500円のお弁当を温めて届けてくれることに・・・
- 1週間経って配食サービスの利用を開始
「セブンイレブンのお弁当がよかったなあ～」
（おばあさん）
「元気になったら、セブンイレブンに行って
元気な姿を毎日見せてあげれば」（保健師）

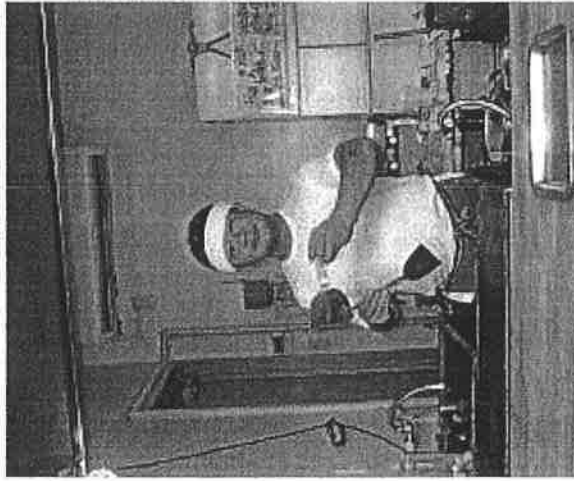
（事例紹介２）

認知症のおじいさんの事例

- 1日に何回もセブンイレブンに通う。買い物して15分後にまたきて、同じものを買って帰る。
- 「さっき買って帰りましたよね？」と言うと、怒り出す。
- 社会福祉協議会と店長さんが検討してくれて「nanac O」をも持たせることに。残金が少なくなると、店長さんが社協に連絡をくれる。
- 何度もセブンイレブンに来なくていいように、店長さんがおにぎりやお弁当を温めて自宅に届けてくれるようになった。
- 一時的ではあるが、買い物がおさまった。

サポートしてくれる商店街の方たち

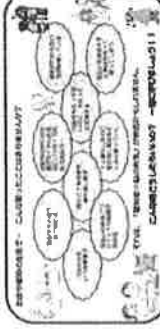
商店街連盟



商店街の皆様も

認知症サポーターに！

認知症サポーターとは、認知症の患者さんや家族の困りごとをサポートする役割です。



認知症サポーターの役割は、認知症の患者さんや家族の困りごとをサポートすることです。具体的には、認知症の症状や対応方法に関する情報を提供したり、患者さんの安全を確認したり、必要に応じて警察に通報したりします。



お宮横丁

本町通り商店街

認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく笑顔で暮らせるまち富士宮

このステッカーは、認知症の方や そのご家族を暖かく見守る応援者の印です。

“認知症サポーター”の役割は？

認知症サポーターのご自宅、
外から見えて目に留まる所に
ステッカーを貼っています。
認知症の方やその家族の
ちょっとしたサポートに
協力します。



安心してご購入物を！！
わたしたちが応援します。

認知症サポーターが
いるお店でステッカーを
貼っています。
買い物を見守り、
お困りのことがあれば
サポートします。



認知症を理解した優しいドライバーに

認知症サポーター
養成講座を修了し
たドライバーの車内
に貼っています。
富士市と共同



認知症サポーター養成講座を修了
いただいた方で「ちょっとしたサポー
ト」が可能な方にステッカーを無料
配布しています。オレンジリングを
持参のうえで下記窓口にお申し出
ください。

相談員・ケアマネジャーなどの福祉職が、
認知症当事者とそのご家族の方と
認知症サポーターをつなぐと共に
「支え合い」をサポートします。

お問合せ・ステッカー配布先

* 認知症サポーター養成講座も
開いています

富士宮市役所 福祉総合相談課

TEL 0544-22-1591

地域でのちょっとした支え合いが広がっています



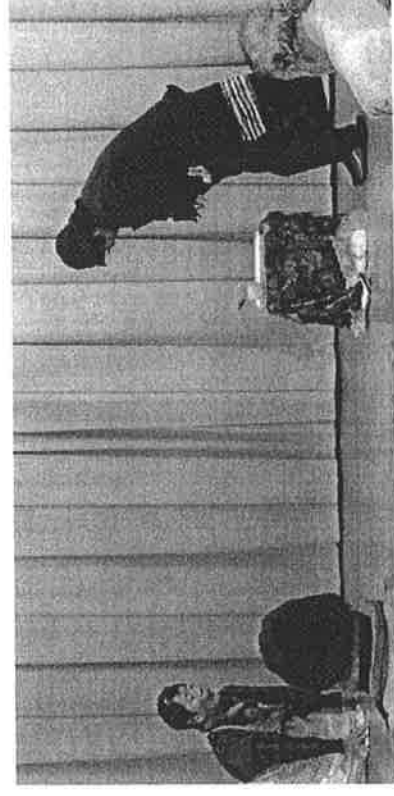
黒田区民の活動(H20.12～現在)



キャラバンメイトである外岡さんが自治会長・町内会長と連携し、町内会(全7町内)をローテーションで毎月講座を実施していった。

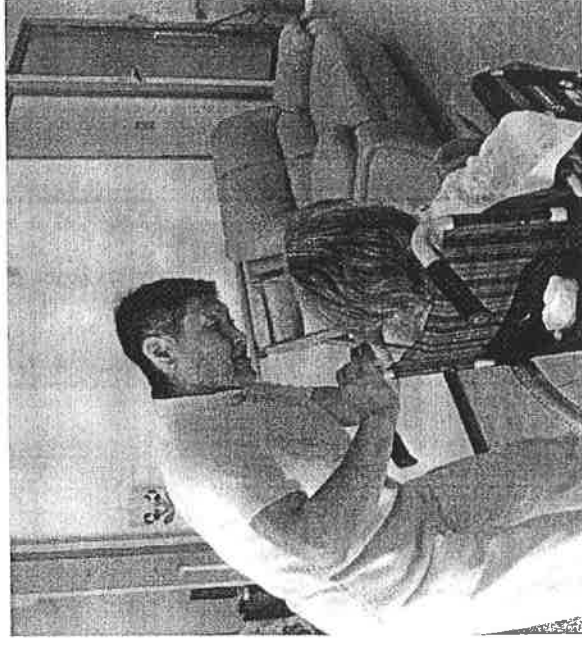
(現在は、3か月に1回実施している。)

地元の寄合処スタッフ・民生委員がスタッフとして関わるようになったため、寸劇を取り入れている。



キャラバンスマイルが増え、近隣のグループホームにボランティアに行くようになる。

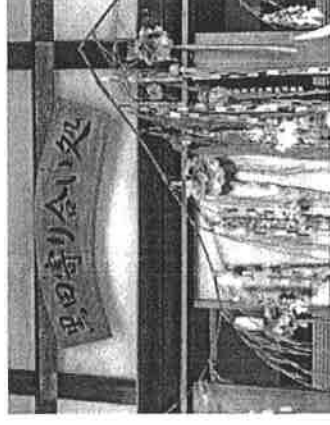
「初めてだから わからないよ」「私も初めてです」
共に苦労して一つの作品に。



入浴後のドライヤー
「横になりたいよ・・・」
「手早くするね・・・」
「ありがとう」

地元のメイトさんに来て頂き、施設の様子や、認知症について知っていただけでうれしい(施設より)

黒田区のいま…



- 依然、キャラバンメイトは増加中
- 地域住民の相談が直接地域のキャラバンメイトに集まるようになる。
- 黒田区有志で立ち上げた卓球サークルで認知症の方が発見され、卓球仲間の継続した訪問活動が始まる。
- キャラバンメイトによる地域の見守りの輪が広がる。
- キャラバンメイトが運営する地域寄り合い処（高齢者サロン）を開設（週1回）、そこに嫉妬妄想が激しい認知症の方と妻が通い始めた。
- 佐野光孝さんもギター持参で啓発活動に加わる。

＊センター方式インストラクター養成と活動支援
介護保健事業者連絡協議会の活動を支援

認知症センター方式インストラクター養成(29人) (H22)

「利用者本位」のケアを実現するために、利用者を知るためのツールである「認知症センター方式」について、インストラクターを養成（市主催により年間6日間の研修を実施）した。

介護職スキルアップ事業(H22)

部会ごと作成した研修基本方針に基づき、年間37回の研修会を実施した。
(例) ケアマネージャーとヘルパーの意見交換会 施設間人事交流

認知症センター方式インストラクター養成(30人) (H23)

H22年度の取り組みをベースにして、各事業所内での展開と更なるインストラクター養成に着手している。

認知症センター方式実践報告会 (H23)

介護保険事業者連絡協議会主催

平成23年7月22日 参加者185人

介護保険事業者連絡協議会の活動

認知症ケア推進会議（H23）

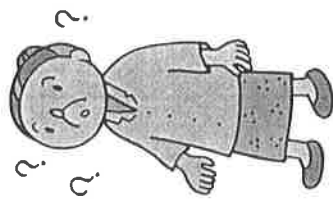
施設長、インストラクターを対象に、センター方式を目的化して、取り組みを議論するのではなく、「認知症ケア」をどうするのか？といった「事業所の理念」から実践活動レベルにまで展開できるような組織マネジメントについて、学習する機会としました。

- 講義「理念・ビジョン実現のためのポイント～施設長・インストラクターの役割とは～」
- グループディスカッション（施設ごと）
施設における「認知症ケアの充実について」
施設で実践活動を継続するための方法について

介護職スキルアップ事業（H23）

部会ごと作成した研修基本方針に基づき、年間38回の研修会を実施した。

- （例）訪問先緊急連絡簿作成取り組み（訪問部会）、地域包括ケアにおけるグループホームの役割と課題についてのワークショップ（グループホーム部会）、施設間交流と体験発表会（施設部会）

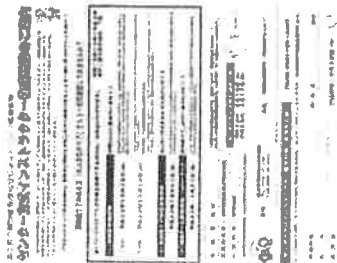


認知症センター方式



「認知症の初期から最期まで、どこに住んでも自分らしく暮らし続けたい」そんな本人・家族の願いを実現するためにつくられたのがセンター方式(認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式)です。

本人と家族を中心に、ケア関係者が共通シートを使って、互いの思いや実情、アイデアを出しあいながら、「本人と家族のよい暮らし」を一緒にめざしていく方法です。



認知症ケアのあり方「本人本位のケア」を もう一度再確認してみませんか？

「その人にとって何が大切か」「関係者が視点を共有しながら実践できることを一緒に見つけていくために...

